

主要産地における平成25年産水稻の生育状況等について 第8報 (6月14日現在)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (平成25年6月14日)

道府県	区分	生育状況等		備考	参考					
		田植進行状況・生育状況等 (自治体等公表資料の抜粋)	同定及び周辺事情に対する自治体等公表資料等 (抜粋)		気象関連公表資料 (気象台等公表資料の抜粋)	生産数量目標			収穫量(主食用) 24年度	作況指数 24年度
						平成25年度	前年度との比較	増減率 %		
北海道	(生育)	(道全般) 生育はやや遅れているものの活着は順調 (北海道農政部 6月1日現在) (石狩) 移植作業が遅れ、生育は5日遅れている (石狩振興局他 6月1日現在) (渡島) 生育及び移植作業とも概ね平年並みに推移 (渡島振興局 6月1日現在) (樺山) 移植作業は順調で、活着も順調 (樺山振興局 6月1日現在) (後志) 生育は平年より3日遅れ (後志総合振興局 6月1日現在) (空知) 活着は概ね順調だが地域間差が見られる (空知振興局 6月1日現在) (上川) 生育は平年並に推移している (上川総合振興局 6月1日現在) (留萌) 移植作業は遅れたがその後の好天により生育は回復傾向 (留萌振興局 6月1日現在) (根室) 移植が平年より遅れている地域がある (根室総合振興局 6月1日現在)	6月のヒメトビウカ・フタオビコヤガの発生量は平年並み、イネドロオイムシの発生量はやや少の予報 (北海道害虫防除所 5月27日公表)	・(全国) 5月現在エルニーニョ現象もラニーニャ現象も発生していない平常の状態、今秋にかけても平常の状態が続く可能性が高い見通し (気象庁 6月10日発表) ・6月8日～7月7日の1か月間の平均気温は高い確率が50% (札幌管区気象台 6月7日発表) ・北海道地方の6月から8月の3か月の平均気温は平年並みまたは高い確率ともに40%、降水量は平年並みまたは少ない確率ともに40% (札幌管区気象台 5月23日発表)	572,940	▲ 11,360	▲ 1.9	621,800	107	
		つがるロマン (黒石) の生育は、草丈・茎数・葉齢ともに平年を上回っている まっしろ (十和田) の生育は、草丈・茎数は平年を上回り、葉齢は0.5葉少ない (青森県産業技術センター-農林総合研究所 6月10日現在)	県全体の田植終期は5月31日で平年に比べ4日遅かった (青森県 6月3日公表) 6月のイネミスゾウムシはやや少ない、イネドロオイムシは津軽地域で平年並、県南地域でやや少ないと予報 (青森県害虫防除所 平成25年5月30日公表)	・6月8日～7月7日の1か月間の平均気温は高い確率が50% (仙台管区気象台 6月7日発表) ・東北地方の6月から8月の3か月の平均気温は平年並みまたは高い確率ともに40%、降水量は平年並みまたは少ない確率ともに40% (仙台管区気象台 5月23日発表)	259,220	▲ 350	▲ 0.1	279,800	106	
岩手	(生育)	活着及び初期生育は良好であり、北上 (農業研究センター) では草丈・葉齢が平年並みで茎数がやや少ないが、軽米 (県北研究所) では草丈・茎数・葉齢とも平年を上回っている (岩手県農業研究センター 6月5日現在)	6月4～10日の調査では本田でのいもち病の発生は確認されていない (岩手県害虫防除所 6月12日公表)	同上	286,350	3,880	1.4	292,900	105	
宮城	(生育)	(登米) 5月初めの低温と強風、5月前半の低温の影響で田植えの早かった圃場を中心に活着・分けつ発生が遅れているが、活着の良好であった一部の圃場では分けつ発生が遅れている (登米農業改良普及センター 5月31日現在) (亶理) 初期生育は順調、田植え時期が早めの圃場は生育はほぼ平年並みであるが、5月中旬以降に田植えを行った圃場では活着して間もないため生育量は前年を下回っている (亶理農業改良普及センター 5月31日現在) (大崎) 田植後の低温や強風により一部では活着不良等が見られたが、気温の上昇とともに回復し草丈・茎数・葉数は平年並み (大崎農業改良普及センター 6月1日現在) (美里) 調査圃場では草丈は平年を上回り、茎数・葉数は概ね平年並みか上回る順調な生育 (美里農業改良普及センター 5月31日現在) (石巻) 除塩調査圃場の生育に目立った障害等は見られない (石巻農業改良普及センター 6月1日現在) (本吉) 茎数はやや少なく、生育は平年より1～2日程度の遅れ (本吉農業改良普及センター 5月31日現在)	本田でのいもち病(粟いもち)は確認されていない(6月3日現在) (宮城県害虫防除所 6月7日公表)	同上	380,770	7,210	1.9	387,400	105	
		(鹿角) 活着が進んでおり生育は好天に恵まれ良好。 (由利) 活着は良好で順調に生育中。移植の早かった圃場では分けつの発生も見られ、田植えの遅れは挽回できる見込み。 (平鹿) 好天に恵まれ活着は良好。移植の早かった圃場では分けつの発生も見られる。 (秋田県農林政策課 6月7日公表)	(秋田) 田植終期は5月29日で平年より7日程度の遅れ (由利) 田植終期は5月30日で平年より4日遅れ (仙北) 田植終期に入った (6月5日) (平鹿) 田植終期は5月29日で平年より5日遅れ (雄勝) 田植終期は6月2日で平年より3日遅れ (秋田県農林政策課 6月7日公表)	6月のイネミギワバエ、アカスジカミカメ (斑点米カメシ類の一種) の発生量は多い予報、いもち病(粟いもち) の発生量は平年並みの予報 (秋田県害虫防除所 6月7日公表)	446,430	2,790	0.6	450,400	100	
山形	(生育)	(最上) 移植後の好天で活着や本田での生育は良好、平年よりやや進んでいる (最上総合支庁 6月10日現在) (庄内) 平田圃の生育は平年よりやや進んでいる、草丈・葉色は平年並みで茎数は多く葉齢は平年より早い (庄内総合支庁 6月10日現在) (村山) 管内のつとねは一部の圃場を除き茎数は指標値と比べてやや少ない、圃場間差が大きくなっている (山形つとねブランド化戦略推進本部村山地域本部 6月10日現在)	東南村山地域で斑点米カメシ類の幼虫を確認 (山形県村山総合支庁 5月28日公表) 6月の粟いもちの発生量は平年並みの予報、斑点米カメシ類はやや多い予報 (山形県害虫防除所 5月29日公表)	少雨等に関する技術対策について用水の確保、干ばつ時の移植の注意などを指導 (山形県 6月13日発表)	374,200	5,210	1.4	380,500	102	
		移植後の生育は周期的に風の強い日があり、一部で植え傷みが発生したが概ね良好 (郡山市 こおりやまの米通信vol.4 6月1日)	田植後は、低温の影響で作業を見合わせるなど、遅いところでは5日程度の遅れとなっている (福島県 5月22日公表)	同上	355,860	▲ 4,470	▲ 1.2	367,600	104	
茨城	(生育)	筑西地域 (筑西市、下妻市、桜川市) のコシヒカリの草丈は平年に比べてやや高く茎数はやや多い、全域においてイネドロオイムシによる食害が発生している (茨城県農林事務所 6月11日公表) 水戸市のあきたこまち (5月1日植え) の生育は平年より3日程度進んでおり、コシヒカリ (5月1日植え) は1日程度、コシヒカリ (5月10日植え) は2日程度進んでいる (茨城県農業総合センター-農業研究所 6月12日公表)	イネドロオイムシが前年に比べて多く発生している (栃木県農業環境指導センター 6月5日公表)	・6月8日～7月7日の1か月間の平均気温は高い確率が60% (気象庁 6月7日発表) ・利根川上流の5月の降水量は平年比38%、利根川水系8ダムの貯水率は平年比64% (国土交通省関東地方整備局 6月14日0時現在) ・関東甲信地方の6月から8月の平均気温は平年並みまたは高い確率ともに40%、降水量は平年並みの確率が40% (気象庁 5月23日発表) ・利根川に続き久慈川でも洪水対策支援を推進 (国土交通省関東地方整備局 常陸河川国道事務所 5月24日) ・関東甲信地方では、5月1日頃から降水量の少ない状態、この状態は今後1週間程度は持続する見込み (気象庁 6月5日発表)	348,890	▲ 2,940	▲ 0.8	399,600	103	
		早期栽培コシヒカリの生育は平年より2～3日進んでいる、草丈は平年より長く、茎数はやや多く、葉齢は0.3葉多い (栃木県 6月11日公表) 下都賀管内 (栃木市、小山市、下野市、壬生町、野木町、岩舟町) のコシヒカリの草丈は平年より短い、茎数は多い (栃木県下都賀農業振興事務所 5月24日現在)	平年よりも5月上旬の気温が低く強風の影響もあったことから移植後の活着は遅れた (栃木県 5月28日公表)	・6月8日～7月7日の1か月間の平均気温は高い確率が60% (気象庁 6月7日発表) ・関東甲信地方の6月から8月の平均気温は平年並みまたは高い確率ともに40%、降水量は平年並みの確率が40% (気象庁 5月23日発表) ・関東甲信地方では、5月1日頃から降水量の少ない状態、この状態は今後1週間程度は持続する見込み (気象庁 6月5日発表)	321,550	40	0.0	331,300	101	
埼玉	(生育)	(県内全般) 5月上旬の強風や低温により一部で伸長不足や葉の傷みなどが見られたが、早期・早植の本田の生育は概ね順調 (早期栽培) (5月1日植え) コシヒカリの生育は概ね平年並み (早植栽培) (5月20日植え) 影のかがやきの活着は良好で、生育は概ね順調 (埼玉県農林総合センター-水田農業研究所 6月1日現在)	今後の生育は順調に推移するものと見通し (埼玉県農林総合センター-水田農業研究所 6月1日現在) ヒメトビウカ (イネ綿葉枯病ウイルス保毒虫) の幼虫が平年より多い (埼玉県害虫防除所 5月31日公表)	同上	156,600	▲ 2,110	▲ 1.3	168,600	99	
		・生育は地域や田植時期によりばらつきがある ・生育が順調な圃場では目標茎数が確保されつつある ・初期生育が停滞した圃場でも生育は回復傾向 (千葉県農林水産部 6月3日公表)	低温や強風の影響で活着不良や初期生育の停滞が見られた (千葉県農林水産部 6月3日公表)	同上	255,700	▲ 1,000	▲ 0.4	328,400	104	
新潟	(生育)	(コシヒカリ) 県全般では好天により草丈は平年並み、茎数は多、葉色は並み、一部地域で植え傷みにより茎数がやや少ない (こしいぶき) 生育が進み、茎数は多い (新潟県農林水産部 6月10日現在) (十日町) 活着・初期生育とも順調 (十日町農業普及指導センター他 6月10日現在) (新発田) 草丈は平年並み～やや長い、茎数は並み～多い (圃場間差大)、葉数は平年並み (村上農業普及指導センター 6月10日現在) (新発田) 生育は順調、過剰生育に注意が必要 (新発田農業改良普及センター 6月10日現在) (上越) 生育は順調で茎数は十分確保されている (上越農業普及指導センター他 6月10日現在) (佐渡) 生育はやや早い、草丈はやや長く、茎数は多く、葉色はやや淡い (佐渡農業普及指導センター 6月10日現在) (長岡) 5月初旬植えでは生育の進みが早いものの、風の強い地域では分けつの発生は平年並み (長岡農業普及指導センター 5月30日現在)	県全般に茎数過剰となる懸念 (新潟県農林水産部 6月11日公表) 高温及び少雨に関する気象情報に伴う農作物の管理対策について指導 (漏水防止、灌水等) (新潟県農林水産部 6月5日)	・6月8日～7月7日の1か月間の平均気温は高い確率が60% (気象庁 6月7日発表) ・北陸地方の6月から8月の3か月の平均気温は平年並みまたは高い確率ともに40%、降水量は平年並みの確率が40% (新潟地方気象台 5月23日発表) ・北陸地方では、5月はじめ頃から降水量の少ない状態、この状態は今後さらに1週間程度は持続する見込み (新潟地方気象台 6月12日発表) ・北陸地方では、6月12日頃からの1週間、気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上、今後1週目から2週目にかけて気温の高い状態が続く見込み (気象庁 6月7日発表)	545,670	▲ 2,910	▲ 0.5	598,700	104	
		コシヒカリの草丈はやや長く、茎数はかなり多い、葉齢は平年並み でんたかんの草丈は長く、茎数は極めて多い、葉齢はかなり進んでいて でんたかんの草丈は長く、茎数は極めて多い、葉齢はかなり進んでいる (富山県農業技術課 6月11日現在)	6月のいもち病(粟いもち)、イネミスゾウムシの発生量は平年並～やや多い予報 (富山県農林水産総合技術センター 5月31日公表)	同上	196,260	▲ 220	▲ 0.1	194,600	100	
石川	(生育)	(コシヒカリ) 生育は平年並み～1日早く、草丈はやや短い～長い、茎数は加賀地域で少なく能登地域で多い、ゆめみずほ 生育は近年比で2～4日早く、草丈は長い、茎数は多い (石川県農林総合センター 6月7日現在)	6月のいもち病(粟いもち)の発生量はやや少、イネドロオイムシは並みの予報 (石川県 5月30日公表)	同上	129,400	▲ 1,640	▲ 1.3	132,000	101	
		(コシヒカリ) 過期植えでは草丈は平年並み、茎数はやや少ない 直播では草丈は長く、茎数は少ないが生育の進みは平年並み (ハナエチゼン) 5月上旬移植では草丈は平年並み、茎数は平年より少ない (福井県他 6月5日現在)	・コシヒカリの過期田植実施率は98% (福井県 6月11日公表) ・高温・少雨に伴う農作物緊急技術対策 (止水確認、計画配水等) を指導 (福井県農業総合指導推進会議 6月5日)	同上	133,360	490	0.4	131,800	100	
長野	(生育)	5月中旬以降は高温傾向のため活着は良好 (松本農業改良普及センター 5月27日現在)	凍害を受けた苗を移植した圃場では植え傷みによる活着不良も見られる (松本農業改良普及センター 5月27日公表)	・6月8日～7月7日の1か月間の平均気温は高い確率が60% (気象庁 6月7日発表) ・関東甲信地方の6月から8月の3か月の平均気温は平年並みまたは高い確率ともに40%、降水量は平年並みの確率が40% (気象庁 5月23日発表) ・関東甲信地方では、5月1日頃から降水量の少ない状態、この状態は今後1週間程度は持続する見込み (気象庁 6月5日発表)	204,400	750	0.4	205,000	98	

				t	%	t			
滋賀	(生育)	移植(5月10日)後は高温と多日照で経過したことから活着は良好で、初期生育は順調に進んでいる コシヒカリと秋の絆の草丈は平均並み、葉数はかなり多い 新品種「みずかがみ」の生育はコシヒカリよりやや早い～同程度 (滋賀県農業技術振興センター 5月31日現在)	葉いもち、ニカメイガの発生量は平均並み、イネドロオウムシ、イネミズゾウムシは少の予報(滋賀県病害虫防除所 5月21日公表)	- 近畿地方では5月から降水量の少ない状態、この状態は今後1週間程度は続く見込み(大阪管区気象台 6月12日発表) - 近畿地方の6月から8月の3か月の平均気温は平均並みまたは高い確率ともに40%、降水量は平均並みの確率が40%(大阪管区気象台 5月23日発表) - 近畿地方では、6月12日頃からの1週間は、気温が平均よりかなり高くなる確率が30%以上、今後1週目から2週目にかけて気温の高い状態が続く見込み(気象庁 6月7日発表)	170,380	▲ 810	▲ 0.5	170,300	102
兵庫	(生育)	(県北)5月中旬までの低温により苗の生育にばらつきがあったが、本田での生育は順調 (県南)苗の生育は、ばらつきが目立つ (兵庫県農政環境部 5月31日現在)	いもち病(葉いもち)が発生しやすいと予想 西播磨地域では稲穂葉枯病が多発傾向 (兵庫県農政環境部 6月3日公表)	同上	187,940	▲ 1,530	▲ 0.8	188,300	100
岡山	(田植)	5月14日、無人ヘリを用いて鉄コーティング種子の湛水直播を実施(岡山県農林水産部 5月15日)	6月のいもち病(葉いもち)発生量はやや多い予報(岡山県 5月31日公表) 少雨に対する農作物等の緊急技術対策について指導(節水栽培等) (岡山県農林水産総合センター他 6月5日)	- 6月8日～7月7日の1か月間の平均気温は高い確率が60%(広島地方気象台 6月7日発表) - 中国地方では、5月1日頃から降水量の少ない状態、この状態は今後1週間程度は持続する見込み(広島地方気象台 6月12日発表) - 中国地方の6月から8月の3か月の平均気温は平均並みまたは高い確率とともに40%、降水量は平均並みの確率が40%(広島地方気象台 5月23日発表) - 国土交通省中国地方整備局海水対策本部を設置(5月21日)	166,040	520	0.3	169,200	100
広島				国土交通省中国地方整備局福山河川国道事務所湯水対策支部を設置、戸田川の農業用水20%取水制限を実施(6月11日より)	134,400	520	0.4	137,400	103
山口			6月の穂葉枯病(ヒメトビウカ)の発生量はやや少ない予報(山口県病害虫防除所 6月1日公表)	- 6月8日～7月7日の1か月間の平均気温は高い確率が50%(福岡管区気象台 6月7日発表) - 九州北部地方(山口県含む)の6月から8月の3か月の平均気温は平均並みまたは高い確率とともに40%、降水量は平均並みの確率が40%(福岡管区気象台 5月23日発表)	116,350	1,990	1.7	114,100	101
愛媛	(田植)	普通期水稻の田植は高温登熟を回避するために6月15日以降に行うよう指導(愛媛県農林水産部 6月3日公表) (南国そたち)生育は順調(現在は幼穂形成期) (コシヒカリ)葉数は少なめで生育速度はやや遅れているが、5月は多照で経過したことから生育は順調(現在は最高分け時期) (JA全農こうちろ 5月31日現在) (早期水稻)4月上旬中は強風による苗の傷みが多く見られた。移植後は低温による活着の遅れが見られ、草丈は低く、分けつも少なめであったが、今日は晴天が多かったため、生育は回復してきている (普通期水稻)移植直後は低温の影響で活着が遅れる圃場も見られたが、生育は概ね順調である (高知県病害虫防除所5月報 6月4日公表)	普通期水稻の移植は6月上旬頃まで続く予定 (高知県病害虫防除所5月報 6月4日公表)	- 6月8日～7月7日の1か月間の平均気温は高い確率が50%(高松地方気象台 6月7日発表) - 四国地方の6月から8月の3か月の平均気温は平均並みまたは高い確率とともに40%、降水量は平均並みの確率が40%(高松地方気象台 5月23日発表) - 四国地方では5月1日頃から降水量の少ない状態、この状態は今後1週間程度は持続する見込み(高松地方気象台 6月12日発表) - 四国地方整備局海水対策本部を設置(5月23日)	76,180	▲ 80	▲ 0.1	74,500	98
高知	(生育)			物部川の5月の雨量は年の51%、仁淀川は37%(国土交通省四国地方整備局)	51,750	190	0.4	57,500	98
福岡			6月のヒメトビウカ(穂葉枯病)の発生量は平均よりやや多と予想(福岡県病害虫防除所 5月31日公表)	- 6月8日～7月7日の1か月間の平均気温は高い確率が50%(福岡管区気象台 6月7日発表) - 九州北部地方の6月から8月の3か月の平均気温は平均並みまたは高い確率とともに40%、降水量は平均並みの確率が40%(福岡管区気象台 5月23日発表)	191,240	290	0.2	185,700	98
熊本	(田植)	JAあまくさ管内では早期米の田植が3月下旬からスタート JAくま管内では早期米の田植が4月上旬からスタート JA熊本うき管内では早期米の田植が4月中旬から本格化 (JAグループ熊本ホームページ)	5月12日に飛来性セジロウカ(初飛来)を確認(熊本県病害虫防除所 5月20日公表) 6月のいもち病(葉いもち)の発生量は平均並みの予想(熊本県病害虫防除所 5月31日公表)	- 6月8日～7月7日の1か月間の平均気温は高い確率が50%(鹿児島地方気象台 6月7日発表) - 九州南部地方の6月から8月の3か月の平均気温は平均並みまたは高い確率とともに40%、降水量は平均並みの確率が40%(鹿児島地方気象台 5月23日発表)	197,710	▲ 2,450	▲ 1.2	188,400	97
宮崎	(生育)	早期水稻は4月の低温によりやや遅れ気味であったが徐々に回復している(宮崎県病害虫防除所他 5月27日公表)	6月の早期水稻のいもち病(葉いもち)の発生量は平均並みの予想(宮崎県病害虫防除所他 5月27日公表)	同上	99,130	▲ 1,810	▲ 1.8	89,400	95
鹿児島	(生育)	早期水稻は4月の低温などで初期生育は遅れたものの、ゴールデンウィーク以降は高温が続いているため生育は回復してきているとの情報 (米穀機構調べ)	- 早期水稻の斑点カメムシの発生量は平均並みの予想(鹿児島県病害虫防除所 6月10日公表) - 6月の早期水稻のいもち病(葉いもち)の発生量は平均並みの予想(鹿児島県病害虫防除所 5月30日公表)	同上	115,520	▲ 1,440	▲ 1.2	107,600	96

注1: 地方自治体及び出先機関並びにJA等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め並びに取材(平成25年6月14日現在)。
注2: 生産数量目標、収穫量、作況については、農林水産省の公表資料から抜粋。
注3: 前報からの更新箇所は下線で表した。

参考資料: 平成24年度水稲の収穫量(農林水産省)、平成25年度米の都道府県別の生産数量目標について(農林水産省)、農作物の生育状況(6月1日現在)(北海道)、病害虫発生予報情報第4号6月予報(北海道病害虫防除所)、北海道地方3か月予報(札幌管区気象台)、作況調査報告(6月11日)(地方独立行政法人青森県産業技術センター農林総合研究所)、平成25年度病害虫発生予報第3号6月予報(青森県病害虫防除所)、平成25年度水稲生育定期調査結果No.1-1(6月5日生育調査結果)(岩手県農業研究センター)、病害虫防除連絡No.6稲編2(岩手県病害虫防除所)、登米地域の稲作適性第2号(登米農業改良普及センター)、平成25年度稲作情報第2号(直理農業改良普及センター)、平成25年度稲作技術情報第3号(大崎農業改良普及センター)、平成25年度美里地区の稲作情報(美里農業改良普及センター)、稲作情報vol.1(石巻農業普及センター)、稲作情報vol.1(本吉農業改良普及センター)、平成25年度発生予報情報発生予報第4号(蔵まね) (宮城県病害虫防除所)、東北地方3か月予報(仙台管区気象台)、平成25年度生育状況報告6月7日号(秋田県)、平成25年度農作物病害虫発生予報情報発生予報第3号(秋田県病害虫防除所)、おしいいづくり情報第5号(山形県管内総合支庁)、稲作たより情報第5号(山形県農上総合支庁)、つや姫連産第1号(山形つや姫ブランド化戦略推進本部山形地本館)、少雨に関する技術対策について(山形県)、平成25年度農作物有害動物発生予報情報発生予報第3号(6月)(山形県病害虫防除所)、こおりやまの米連産(郡山市)、平成25年度病害虫発生予報情報発生予報第2号(福島県病害虫防除所)、水稲生育情報(No.2)(筑波地域農業改良普及センター)、農研連稲水稲の生育状況6月10日現在(水戸市(茨城県農業総合センター産業研究所)、平成25年度水稲生育診断予報事業連絡No.2(早稲栽培6月7日調査結果)(栃木県農政部)、下都賀管内水稲技術資料No.3(栃木県下都賀農業振興事務所)、植物防疫ニュース(連絡No.6)(栃木県農業環境指導センター)、関東甲信地方3か月予報(気象庁)、平成25年度水稲の生育概況VIL-1(埼玉県農林総合センター水田農業研究所)、平成25年度病害虫発生予報第2号(埼玉県病害虫防除所)、埼玉県農業気象速報(埼玉県、熊谷地方気象台)、水稲の生育状況と当面の対策第1報(千葉県農林水産部)、水稲の生育状況と今後の管理対策(第2号)(新潟県農林水産部)、稲作生育速報(十日町地域)(十日町農業普及指導センター他)、岩船米生育速報(6月10日現在)(村上農業普及指導センター)、新発田地域水稲生育速報No.2(新潟県農業改良普及センター)、平成25年度水稲の生育状況(新潟県)、平成25年度水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査3号)(石川県農林総合研究センター)、病害虫発生予報第2号(石川県)、稲作情報No.6(稲作情報作成委員会・水田農業レベルアップ委員会技術普及部)、平成25年通期田植の実績コシヒカリ「5月半ばの通期田植」について(福井県)、高温・少雨に伴う農作物緊急技術対策(福井県農業総合指導推進会議)、平成25年度作物技術普及情報第7号(長野県松本農業改良普及センター)、平成25年度水稲生育診断情報No.1(滋賀県農業技術振興センター)、平成25年度発生予報第3号(滋賀県)、近畿地方3か月予報(大阪管区気象台)、平成25年度兵庫県農業技術情報第2号(6月情報)について(兵庫県)、中国地方3か月予報(広島地方気象台)、岡山県ホームページ(http://www.pref.okayama.jp/page/335459.html#4)、平成25年度病害虫発生予報第3号(岡山県)、少雨に対する農作物等の緊急技術対策について(岡山県農林水産総合センター他)、農作物病害虫発生予報6月(山口県病害虫防除所)、九州北部地方(山口県含む)3か月予報(福岡管区気象台)、今月の天候と農作物6月(愛媛県)、病害虫発生予報(6月)(愛媛県)、四国地方3か月予報(高松地方気象台)、お米生育日記(JA全農こうちろホームページ http://www.zennoh-kochi.jp)、平成25年度病害虫発生予報5月報(高知県病害虫防除所)、平成25年度発生予報第3号(6月)について(福岡県病害虫防除所)、JAグループ熊本ホームページ(http://www.ja-kumamoto.or.jp/)、平成25年度病害虫発生予報第3号(6月予報)(熊本県病害虫防除所)、平成25年度病害虫発生予報第2号(宮崎県病害虫防除所)、平成25年度病害虫発生予報第3号(鹿児島県病害虫防除所)、九州南部・奄美地方3か月予報(鹿児島地方気象台)、国土交通省関東地方整備局ホームページ http://www.ktr.mlit.go.jp/river/shion/river_shion0000111.html、那珂川・久慈川治水状況について(国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所)、中国地方一般河川の治水情報(国土交通省中国地方整備局)、四国地方整備局湯水対策本部の設置について(那賀川水系・吉野川水系岡山川)(国土交通省四国地方整備局)、少雨に関する北陸地方気象情報第1号(気象庁)、少雨に関する中国地方気象情報第1号(気象庁)、高温に関する異常天候早期警戒情報(関東甲信地方)(気象庁)、高温に関する異常天候早期警戒情報(北陸地方)(気象庁)、高温に関する異常天候早期警戒情報(近畿地方)(気象庁)、高温に関する異常天候早期警戒情報(近畿地方)(気象庁)、少雨に関する四国地方気象情報第1号(高松地方気象台)、エルニーニョ監視連絡No.249(気象庁)、北海道地方1か月予報(札幌管区気象台)、東北地方1か月予報(仙台管区気象台)、関東甲信地方1か月予報(気象庁)、北陸地方1か月予報(新潟地方気象台)、近畿地方1か月予報(大阪管区気象台)、中国地方1か月予報(広島地方気象台)、少雨に関する中国地方気象情報第2号(広島地方気象台)、戸田川の取水制限と湯水対策支部の設置について(国土交通省中国地方整備局福山河川国道事務所)、四国地方1か月予報(高松地方気象台)、少雨に関する四国地方気象情報第2号(高松地方気象台)、四国管内主要ダム貯水状況表(国土交通省四国地方整備局)、九州北部地方(山口県含む)1か月予報(福岡管区気象台)、九州南部・奄美地方1か月予報(鹿児島地方気象台)、高温に関する異常天候早期警戒情報(鹿児島地方気象台)